

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	栃木市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	合計
1	渡良瀬バルーンレース 地域活性化事業	総事業費					8,243,000	8,243,000
		うち市町支出額					7,000,000	7,000,000
		うち県交付金					1,000,000	1,000,000
2	高校生社会参画促進事業	総事業費				105,200	140,000	245,200
		うち市町支出額				100,000	100,000	200,000
		うち県交付金				50,000	50,000	100,000
3	渡良瀬バルーンレース 開催事業	総事業費		5,652,276	5,436,803	5,420,121		16,509,200
		うち市町支出額		4,300,000	4,000,000	4,000,000		12,300,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000		3,000,000
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	5,652,276	5,436,803	5,525,321	8,383,000	24,997,400
		うち市町支出額	0	4,300,000	4,000,000	4,100,000	7,100,000	19,500,000
		うち県交付金	0	1,000,000	1,000,000	1,050,000	1,050,000	4,100,000

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	栃木市
事業名	渡良瀬バルーンレース地域活性化事業
事業主体の名称	渡良瀬バルーンレース実行委員会
代表者の名称	実行委員長 神島 馨
事業主体の所在	〒323-1192 栃木県栃木市藤岡町藤岡1022-5
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 渡良瀬遊水地において熱気球大会を開催し、スカイスポーツの普及及び啓蒙を図り、もって地域振興に寄与すること</p> <p>・設立年月日: 平成23年1月17日</p> <p>・構成員等: 一般社団法人栃木市熱気球クラブ、藤岡町商工会、一般社団法人栃木市観光協会藤岡支部、下野農協同組合、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、特定非営利法人熱気球運営機構、栃木市、栃木市藤岡地区体育協会、足利銀行藤岡支店、栃木信用金庫藤岡支店</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>渡良瀬遊水地は本州最大のヨシ原と450haの貯水池を含む遊水地で、その広大な立地特性から従来よりスカイスポーツ、ウォータースポーツが盛んに行われてきました。中でも熱気球にとって渡良瀬遊水地は、通年フライトできる数少ないエリアとして知られており、多くの愛好家が訪れています。このような中、栃木市では2000年から行政だけではなく地元関係者と競技関係団体等からなる実行委員会を組織して、市民協働のイベントとして「栃木市・渡良瀬バルーンレース」を開催しています。平成29年度から、わがまち未来創造事業交付金を活用し、バルーンレース来場者に対し渡良瀬遊水地及び栃木市のPRを行い交流人口の増加を図り、観光客入込数が増加しました。一方で地元観光産業の基盤が未発達であり、市内観光地との連携も十分とは言えず、観光客の増加による地元産業への好影響は限定的なものとなっています。今後は、交流人口の更なる増加を図るとともに、観光客の増加を市内観光産業への好循環につなげ地域活性化を図っていく必要があります。</p>
事業目的	<p>・渡良瀬遊水地及び周辺で日常的に親しまれているレジャースポーツである熱気球の全国的な競技大会を開催し熱気球人口の増加と競技技術の向上を図るとともに、栃木市の地域振興を図る。交流人口の増加を地元観光産業の発展につなげていくとともに、イベント来訪者に渡良瀬遊水地および栃木市の魅力をPRし、市内観光地と連携し栃木市の滞在時間を増やし、宿泊客の増加を図る。スカイスポーツのメッカとして栃木市の持つ都市ブランドに磨きをかけ、熱気球に携わる者の栃木市への定着を図る。</p>
事業概要	<p>小学生向け熱気球教室を市内小学校を対象に開催し、普段、自宅等から飛行している姿が見える熱気球がどのような仕組みになっているか、どのような原理で飛行するかをミニ熱気球を作製し飛ばすことで、熱気球をもっと身近に感じてもらうイベントへの興味を深めてもらい、熱気球及びバルーンレースが自分達に身近な存在であることをPRする。また、本市で所有する熱気球を活用し、会場である藤岡渡良瀬運動公園での定期的な係留搭乗体験の実施や、市内イベントにおいてバーナーイリュージョンを行ったり、バルーンレースに合わせたイベントを実施し、大会の開催機運の醸成をする。栃木県東京事務所を通しての告知や熱気球グランプリのシリーズ戦を開催する他の4自治体と共同の記者説明会でのPR活動をしたり、大会会場への案内を充実させ近年増えつつある県内外からの来訪者のさらなる増加とスムーズな誘客を促進する。宿泊施設運営事業者と連携し、大会と市内観光及び宿泊を連携したプランを開発して宿泊客の増加を図る。大会としては、会場内でのイベントや体験コーナーを増やし、来場者の長時間の滞在を促す。そして、目玉プログラムの一つであるバルーンイリュージョンが夜間に行われるため、会場内照明の充実や遊水地の特徴ある植物のヨシを使ったヨシ灯りによるライトアップを行い暗がり減らすことで会場内の通路等の安全・安心を確保し、さらに誘導員による案内のスムーズ化をすることで、さらなるホスピタリティの向上を図る。また、注目度の高い日本選手権を関東で初めて開催することで、栃木市への誘客を促し、競技の行われない間の時間を利用して、市中心部へのガイドツアーを実施することで、イベント来訪者に渡良瀬遊水地および栃木市の魅力をPRし、市内観光地と連携し栃木市の滞在時間を増やし、宿泊客の増加を図る。</p> <p>【時期】令和2年12月11日(金)、12日(土)、13日(日)、14日(月)</p> <p>【会場】藤岡渡良瀬運動公園、渡良瀬遊水地内及びその周辺</p> <p>【主な内容】①小学生向け熱気球教室(告知事業)・・・(熱気球の原理を学んだり、ミニ熱気球を作り実際に飛ばしてみる体験を通して競技及び大会の魅力を感じる教室)</p> <p>②バルーンレースイベント及びバーナーイリュージョンイベント(告知事業)・・・(ハート形熱気球でバルーンレースにハートの下で記念撮影会をし、熱気球の魅力やイベントの周知を図る(市内イベントにおいてバーナーイリュージョンを行い、熱気球の魅力やイベントの周知を図る企画))</p> <p>③熱気球ホンダグランプリ、栃木市・渡良瀬バルーンレース大会、熱気球日本選手権・・・(国内のトップ選手たちによる熱気球の大会、今回は日本選手権を同時開催)</p> <p>④バルーンイリュージョン・打上花火・ヨシ灯りライトアップ・・・(熱気球ライトアップと打上花火のコラボレーションによるプログラム、ヨシを使ったヨシ灯りによる会場のライトアップ)</p> <p>⑤マイクロライトプレーン展示、紙飛行機体験教室、モーターパラグライダーデモンストレーション、スカイダイビングデモンストレーション・・・(普段、間近で見ることのできない機体を見たり触ったりしたり、紙飛行機を作り飛ばす体験、生のスカイスポーツを間近で見るとの体験)</p> <p>⑥熱気球教室、熱気球係留搭乗体験・・・(広大な渡良瀬遊水地で行われる熱気球競技のルールを学んだり、熱気球の魅力や体験を体感する体験)</p> <p>⑦同時開催: 模擬店開催・・・(来場者の滞在時間を増やすため、地元グルメや体の温まる食品の販売)</p> <p>⑧渡良瀬遊水地及び栃木市PR・・・(渡良瀬遊水地の歴史や自然環境のパネル紹介及びガイド付きミニツアーの実施、栃木市全体の観光地各所の紹介及びガイド付きミニツアーの実施)</p> <p>⑨市内農産物等の販売コーナー・・・(市内農産物等のPRと販売)</p> <p>⑩スポーツ体験教室・・・(サッカー教室など体験型のイベントの実施)</p> <p>年間を通して楽しませられているレジャースポーツは、今回のイベント開催に限らず、夏の渡良瀬遊水地フェスティバル、11月のウォーキング大会など市主催のイベントの県を越えた近隣自治体との合同イベントにて各種の利用団体および一般参加者に本イベント及び熱気球競技の周知に努める。 翌年度以降も「栃木市PRの玄関口」を継続しながら、栃木市の宝である渡良瀬遊水地で特色のあるレジャースポーツに力を入れて、新しい観光客の増加に努め事業の拡大を図る。</p> <p>・渡良瀬遊水地は地域特性として4県4市2町にまたがり、もともと市外、県外からの来訪者が多いが、広報活動においては、各種のレジャースポーツを楽しむ団体の方々や一般の来訪者へ市の広報の他に、タウン誌やラジオ、HP、facebook、チラシ、ポスター等で周知を行い、県内外へのさらなる広域的なPRを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】「本市への新しい人の流れをつくる」</p> <p>【具体的施策】交流人口の増加/観光資源の魅力向上と有効活用</p> <p>【KPI】主要観光地及び観光施設観光客入込数 H26:365万人→H31:380万人(R1実績:集計中)</p> <p>平成27年:3,892,192人 平成28年:3,863,706人 平成29年:3,982,854人 平成30年:3,944,016人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和2年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①小学生向け熱気球教室(告知事業) ②バルーンレースイベント及びバーナーイリュージョンイベント(告知事業) ③熱気球ホンダグランプリ、栃木市・渡良瀬バルーンレース大会、熱気球日本選手権開催 ④バルーンイリュージョン・打上花火・ヨシ灯りライトアップ ⑤マイクロライトプレーン展示、紙飛行機体験教室、モーターパラグライダーデモンストレーション、スカイダイビングデモンストレーション ⑥熱気球教室、熱気球係留搭乗体験 ⑦同時開催: 模擬店開催 ⑧渡良瀬遊水地PR、ガイド付きミニツアー、栃木市PR、ガイド付きミニツアー ⑨農産物等販売 ⑩スポーツ体験教室				①小学生向け熱気球教室(告知事業) ②デモフライト及びバルーンレースイベント(告知事業) ③熱気球ホンダグランプリ第1戦栃木市・渡良瀬バルーンレース大会開催 ④バルーンイリュージョン・打上花火 ⑤マイクロライトプレーン展示、紙飛行機体験教室、モーターパラグライダーデモンストレーション、スカイダイビングデモンストレーション ⑥熱気球教室、熱気球係留搭乗体験 ⑦同時開催: さら祭り ⑧栃木市PR移住体験案内や観光PR、ガイド付きミニツアー ⑨渡良瀬遊水地PRガイド付きミニツアー ⑩農産物販売 ⑪スポーツ体験教室
事業費	8,243,000			8,243,000	8,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	7,000,000			7,000,000	7,000,000
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	0
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	1,243,000	0	0	1,243,000	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業振興部 藤岡産業振興課 商工観光係
担当者名	小野 晶久
電話	0282-62-0907
連絡先 FAX	0282-62-0918
E-mail	f-sangyou04@city.tochigi.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	渡良瀬バルーンレース地域活性化事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
栃木市負担金	7,000,000	市負担金
協賛金	700,000	公式プログラム広告協賛金(想定30社、¥370,000) 打上花火協賛金(想定33件、¥330,000、法人・個人含む)
繰越金	522,696	前年度繰越金
雑収入	20,304	預金利息、寝具レンタル料
計	8,243,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	250,000	200,000	0	50,000	告知事業熱気球教室講師謝礼 40,000 ウエルカムパーティー出演謝礼 30,000 大会MC謝礼 100,000 大会表彰記念品代 80,000
旅費	10,000	10,000	0	0	記者説明会等参加旅費 10,000
交際費	450,000	250,000	0	200,000	式典飲食費 250,000 選手、スタッフ朝食サービス費 200,000
消耗品費	160,000	120,000	0	40,000	会場設営用消耗品 70,000 大会運営用消耗品 50,000 事務用消耗品 40,000
燃料費	30,000	30,000	0	0	借用车両燃料代 30,000
食糧費	100,000	30,000	0	70,000	告知事業スタッフ昼食代 70,000 接待用お茶代 30,000
印刷製本費	300,000	150,000	0	150,000	告知ポスター・チラシ印刷 100,000 直前チラシ印刷 200,000
通信運搬費	200,000	200,000	100,000	0	各種郵送料 100,000 大会臨時携帯電話使用料 40,000 競技本部ネット回線使用料 60,000
手数料	220,000	220,000	100,000	0	煙火消費申請手数料 10,000 仮設トイレ汲取り手数料 60,000 直前チラシ折込手数料 150,000
委託料	4,383,000	4,150,000	800,000	233,000	公式プログラム作製委託 533,000 会場設営委託 2,000,000 各種作業委託(シルバー人材) 150,000 会場警備及び駐車場誘導委託 850,000 花火打上委託 700,000 告知事業委託 150,000
使用料及び賃借料	120,000	120,000	0	0	貸布団代 40,000 競技用機材 30,000 バス借上代 50,000
負担金、補助及び交付金	2,020,000	1,520,000	0	500,000	セミナー参加負担金 20,000 組織委員会大会運営負担金 2,000,000
計	8,243,000	7,000,000	1,000,000	1,243,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	栃木市
事業名	高校生社会参画促進事業
事業主体の名称	とちぎ高校生蔵部
代表者の名称	菅谷 悠樹
事業主体の所在	〒328-8686 栃木県栃木市万町9-25 栃木市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: ボランティアやまちづくりに関心のある高校生が気軽に集い、同世代の仲間だけでなく大人とも語り合いながら、高校生の視点による自主的な活動を展開し、栃木市の賑わいの創出に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年4月1日 ・構成員等: 栃木市内に居住する高校生及び市内の高等学校に在学する高校生並びにとちぎ高校生蔵部の目的に賛同する高校生
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の高等学校に通学する生徒が中心となり、「とちぎ高校生蔵部」を立ち上げ、まちなかでのイベントに参画している、栃木市中心部においても高齢化が進捗し、イベント等での担い手が不足していることから、高校生の視点による事業を展開し、中心市街地の活性化を図る必要がある。 ・「とちぎ高校生蔵部」の取り組みにより、高校生の地域づくり活動への関心が高まってきている一方で、地域のイベント等での担い手要請は後を絶たない状況である。そのようなことから、まずは高校生が街なかの魅力に触れる機会を創出し、イベントに参加した高校生が栃木市の魅力に触発され、将来の地域の担い手として活動してもらえる環境整備が必要である。 ・マップづくりや街歩きイベントを行った結果、高校生の栃木市の歴史や伝統工芸品等の認知度が低いことから、認知度を高める取り組みを行うことが必要である。
事業目的	高校生の視点による栃木市の魅力発信と街なかの賑わい創出
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <p>①地元商店等の協力を得ながら、高校生がお勧めする「栃木の街散策マップvol.6(日本語版、英語版)」を作成し、栃木市の魅力を観光客(外国人来訪者含む)や市内に通学する高校生に発信する。</p> <p>②マップを活用した若者及び栃木市来訪者向けの街歩きイベント(とちぎ秋まつりでの開催を予定)を開催する。</p> <p>③伝統工芸士の指導のもと、栃木市伝統文化体験事業(樽づくり、箒づくり)を栃木市高校生合同文化祭等において開催する。</p> <p>【令和2年度実施事業の特徴】</p> <p>①マップづくりは、学割を実施する店舗数を増やす取り組みを併せて行い、マップを見た若者が栃木市に来訪し、街なかの若者交流人口を増やす取り組み。</p> <p>②街歩きイベントは、高校生に限定して実施していたが、栃木市に関心ある大学生等を含めた若者に対しても実施する。</p> <p>③栃木市の伝統工芸品である「栃木の樽」や「都賀の箒」等の製造技術等を学び、伝統文化継承の必要性や伝統工芸品の新たな活用方法等について体験活動を通して発信します。</p> <p>【事業のPR方法】</p> <p>SNS(twitter、facebook)を活用し、市内外から通学する高校生及び大学生等をターゲットに情報発信を行い、栃木市への関心を高めてもらう。</p> <p>【翌年度以降の取組み】</p> <p>とちぎ高校生蔵部で活動するメンバーの加入促進に取組み、翌年度以降についても上記事業を拡充し、市外からの若者の来訪者及び市内に在住する若者のまちなか交流人口の新たな流れを構築する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】「本市への新しい人の流れをつくる」</p> <p>【具体的施策】交流人口の増加/観光資源の魅力向上と有効活用</p> <p>【KPI】主要観光地及び観光施設観光客入込数 H26:365万人→H31:380万人【H30実績396万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①「栃木の街散策マップ」作成 ②「栃木市伝統文化体験事業(都賀の箒)」開催	①「栃木の街散策マップ」作成 ②「高校生イチオシ!蔵の街魅力ツアー(とちぎ秋まつり)」開催 ③「栃木市伝統文化体験事業(栃木の樽)」開催			①「栃木の街散策マップ」作成 ②「高校生イチオシ!蔵の街魅力ツアー」開催 ③「栃木市伝統文化体験事業(樽を活用した味噌づくり)」開催
事業費	105,200	140,000		245,200	75,000
市町支出金(ソフト事業分)	100,000	100,000		200,000	50,000
うち県交付金	50,000	50,000		100,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	5,200	40,000	0	45,200	25,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習課 青少年係	
担当者名	藤野 法之	
連絡先	電話	0282-21-2489
	FAX	0282-21-2690
	E-mail	gakusyu05@city.tochigi.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高校生社会参画促進事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市町村支出金	100,000	
自主財源	40,000	とちぎ高校生蔵部イベント収益金(既存財源)
計	140,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	70,000	40,000	20,000	30,000	伝統工芸士等謝金
消耗品費	20,000	20,000	10,000	0	体験事業用消耗品
印刷製本費	50,000	40,000	20,000	10,000	マップ等印刷代
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	140,000	100,000	50,000	40,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合